那覇市立教育研究所　研究所だより

分析説明会（県到達度）を終えて

那覇市金城３−５−３
所長　田中　浩三

●昨年 12 月に実施された沖縄県学力到達度調査の結果の分析と考察等の説明会が下記の日程で行われました。ご多忙の折、小中学校の校長及び教頭をはじめ、多くの先生方のご参会をいただき、深く感謝申し上げます。課題への手立てを今後の授業等に生かして頂けると幸いです。

県学力到達度調査分析説明会終わる！

所長　田中浩三

平成二二年度十二月に小学校四年生と中学校二年生を対象に実施されました県学力学習状況調査の分析説明会が、管理職（小学校のみ）と担当教諭参加の下、五月中に全て終了しました。

本説明会は、小学校「国語・算数」と中学校「国語・数学・英語」について、那覇市が各教科の結果をもとに独自に分析し、四回に分けて実施したものです。

参加者：①小学校国語・算数（管理職＋各学年担当者１人）…（253人）　中学校（各教科担当者）…②国語（58人）③数学（61人）④英語（18人）

また、本説明会は、次のような趣旨のもと開催されております。

①本市児童生徒の「基礎的・基本的知識技能」や「思考力・判断力・表現力」の定着状況を把握する。②結果を問うものではなく、本市児童生徒の学力の到達度について課題を見つけ、課題克服のため資料として活用する。③本市児童生徒の課題を関係者が共通理解するとともに、学力向上に向けて今後の授業改善及び指導力向上に活かしていく。

そこで、本説明会における各教科の「成果や課題」の中から、特に指導を要する事項については、下表のようにまとめてみました。

今後、各学校におかれましては、上記趣旨を理解し、児童生徒の分析結果の「成果や課題」等をもとに、校内研修や学年・教科研究会等で共有化を図ってほしいと思います。その中で、「成果」についてはさらに継続して取り組むことを確認し、「課題」については授業改善の視点や方向性等を検討して頂きたいと思います。そして、校内研修等で確認されたことは着実に実践し、授業改善に活かしていくことが児童生徒の学力向上につながるものと考えています。

結びに、学校は組織体であります。校長・教頭の担うべきこと、先生方の努力すべきこと等一人一人が役割を発揮してこそ、確実に成果が現れるものです。那覇市の児童・生徒の学力向上のために共に力を合わせて取り組んでいきたいものです。

【小学校　国語・算数】　平成 23 年５月 18 日　パレット市民劇場
【中学校　英語】　平成 23 年５月 25 日　とまりん第１会議室
【中学校　数学】　平成 23 年５月 30 日　真和志庁舎（総合青少年課）
【中学校　国語】　平成 23 年５月 31 日　真和志庁舎（総合青少年課）

小学校国語

国語Ａの課題と手立て　①接続語を正しく使うこと。②「様子を表すことば」の読み。の２点が大きな課題であり、その対応として「読む活動」と「書く活動」を組み合わせた言語活動を仕組むことと書くことを常時活動で仕組むことが重要です。

国語Ｂの課題と手立て　③「目的に応じて中心となる言葉や文をとらえて、段落相互の関係を考え文章を正しく読む」が課題で、授業の視点として「話す・聞く活動」や説明文・報告文等の指導において文末表現に着眼した指導を取り入れることも大切です。

小学校算数

算数Ａの課題と手立て　４領域の中では「図形」領域に課題があります。子ども自身が意図的に補助線を引くような学習の場や，回したり，ずらしたり，ひっくり返して形を捉えるような活動を多く取り入れ，図形を多様に見る力をつける必要があります。

算数Ｂの課題と手立て　課題は二つ，①問題把握（示された数値や条件の理解）の徹底と、②記述式の問題でした。問題の要素や条件を一つ一つ順序よく整理していく習慣をつけることや，学習の目的を踏まえた表現・記述が重要となるため，授業のめあてを子どもたちに強く意識づける取組が必要となります。

中学校英語

英語の課題と手立て　課題として、①所有格と目的格の違いを理解していない。②Why～？「なぜ、どうして」と Why don't you~? {～しませんか} の違いを理解していない。③複数の箇所にわたる情報を統合したり，取捨選択したりして答えを読み取る力が弱い。④Why…疑問文と Yes-No,疑問文 Do/Does/Are you～？の違いを理解していない。などが挙げられます。その手立てとして、４技能のバランスのとれた指導を繰り返しながら、「初歩的な英語」（学習指導要領解説外国語編 P2～P945 に示された語や文法）を確実に使えるようにすることが必要です。

中学校数学

数学Ａの課題と手立て　「図形」領域に課題があります。図形の指導では、ICT の活用や教具を使用して視覚的に印象づける必要があります。また、求積問題では考え方を十分理解させること、作図については手順の持つ意味について理解させることが大切です。

数学Ｂの課題と手立て　「説明をする問題」に課題があります。「根拠を示して説明していない」など説明の仕方が不十分です。その手だてとして、普段から発表する際やノートに記述する際に「根拠を示す」ことを意識させることが大切です。

中学校国語

国語Ａの課題と手立て　課題は二つ．①話を聞いて適切なメモを取ることと②表記や語句の用法を分かりやすい文章に直すことです。「適切なメモの取り方の習得と習慣化」「根拠を示して書く力」を身につけさせる手立てを講じる必要があります。

国語Ｂの課題と手立て　課題を二つあげました。③場面の展開に注意して内容を理解することと④中心と付加的な部分を読み分けることです。手立ての視点として「図式化して読み取る力」「具体例や結論を読み分ける力」をあげました。